

公的資金に頼れない時代の公共施設事業 ～老朽化問題、財源不足を乗り越える「成長戦略」を考える～

国や自治体の財政状況はまだまだ厳しい状況にある。それに加え、1960、70年代に建設された多数の高速道路や公共施設がいつせいに老朽化してゆくという問題が浮上。公共施設事業は大きな節目を迎えている。

PFI/PPPや指定管理者制度等、公共施設の建設や運営への民間活力導入の動きは、こうした社会状況の中で必然的
にあらわれてきたといえよう。これまでの動きを見てみると、指定管理者制度やサービス購入型の従来のPFI制度は、
一定の効果をみる事ができたといえるが、一方で、民間へのリスク移転が限定的で民間がインセンティブを持ちに
くいしくみになっており、民間のノウハウを生かしきれない点などが批判を招いてきたことも事実である。しかし、
現在では、成長戦略の一環としてPFI法が改正され、コンセッション方式が導入されたことにより、運営権を付与さ
れた民間事業者が自らの裁量で事業を行い、事業収支についても責任を請け負う独立採算型のPFI事業も可能になっ
ている。

このような官業の民間への開放の事例は、海外ではすでに多数の事例がみられるが、我が国でも空港、民間施設と公
共施設が同居する複合施設づくりなど、様々な取りくみがみられるようになってきている。

このシンポジウムではこうした動きをふまえて、これからの公共施設事業をどのように推進していくべきなのか、
老朽化問題、財源不足を乗り越え、どう「成長戦略」に結び付けていくことができるのか考えてみたいと思う。

開催概要

開催日 2014年 1月27日(月曜日) 12:50~15:00
会場 乃村工芸社本社 ノムラストUDIO
〒135-8622 東京都港区台場2丁目3番4号 TEL:03-5962-1171(代表)
<http://www.nomurakougei.co.jp/corporate/establishments/>
主催 (株)文化環境研究所
入場料 無料
定員 100名(要事前申し込み・先着順) 当日申込は受付していませんので、ご了承ください。

プログラム

12:20 開場
12:50 主催者あいさつ
13:00 基調講演
・根本祐二氏 東洋大学経済学部教授 東洋大学PPP研究センター長
13:50 休憩
14:00 パネルディスカッション
●パネリスト(アイウエオ順)
・中島秀男氏(乃村工芸社 PPP事業部長)
・根本祐二氏(東洋大学経済学部教授 東洋大学PPP研究センター長)
・村山元英氏(千葉大学名誉教授 シアトル大学特別招聘教授)
●コーディネーター
・高橋信裕(常磐大学コミュニティ振興学部教授 文化環境研究所;顧問)
14:55 クロージング
15:00 コーヒータイム

参加申込み

文化環境研究所ホームページの「申込フォーム」よりお申込み下さい。

<http://www.bunkanken.com/symposium/20140127.html>

参加申し込みの締切は、2014年1月19日(日)となります。

1月20日(月)以降、参加確定の皆様に参加確定証をメールにて改めてお送りしますので、当日プリントアウトしてご参
加ください。希望者多数の場合は、抽選により参加確定となりますので、ご容赦下さい。

お問い合わせ

文化環境研究所

[メール] sinpo2014@bunkanken.com

[電話] 03-5962-1753



【根本祐二】 Yuji Nemoto

東洋大学経済学部教授・東洋大学PPP研究センター長

1954年鹿児島県生まれ。1978年東京大学経済学部卒業、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。地域開発部、米国ブルッキングス研究所客員研究員、設備投資研究所主任研究員、地域企画部長などを経て、2006年、東洋大学経済学部教授に就任。専門は公民連携、地域再生。内閣府、国土交通省、東京都、横浜市などで公職多数。主な著書に『公民連携白書』（共著、時事通信社）、『地域再生に金融を活かす』（学芸出版社）、『マルチ・エンターテインメント・ビジネス』『テーマ・パーク時代の到来』（以上、ダイヤモンド社）などがある。



【村山元英】 Motofusa Murayama

千葉大学名誉教授/シアトル大学特別招聘教授

1934年東京下町生まれ。商学博士。最終学歴はアメリカ・シートンホール大学・大学院修了。その後ニューヨークのプライス・ウォーターハウス・クーパー社にて国際経営指導の実務を経験。アメリカの母校で教鞭をとり、帰国後は上智大学講師を経て、千葉大学助教授に就任。同大学教授、大学院教授を経て同大学停年退官後、2001年4月より中京大学教授に。専門研究は、「国際経営学」「経営人類学」「経営戦略論」を中心に、広義の経営学、経営管理論、経営環境論、都市・地域研究、比較文化論など。国際交流基金、日本学術振興会、アジア生産性機構、日米教育交換協議会などの海外派遣客員教授として、アメリカのサンフランシスコ大学、ニューヨーク大学、ジョージア州立大学、アジアの国立マラヤ大学、比国ラサール大学、国立インドネシア大学、韓国釜山・東西大学などにて研究指導と専門講義をする。国際学会から、「ニューヨーク社会科学院会員」と「環太平洋学術会議フェロー」に選ばれる。「国際経営文化学会会長」「多国籍企業研究会理事」「経営哲学学会理事」などを歴任。主な著作に『創造的破壊の経営学—破れない“二つめ”の卵の殻』（村山になとの共著）、『企業文化原論—経営の芸術力』『国際経営と経営文化—“身の丈に合った”学問』『グローバル経営戦略—名古屋の企業文化論』『戦略と哲学—経営者開発論』など多数。



【中島秀男】 Hideo Nakajima

株式会社乃村工藝社 PPP事業部 事業部長

1956年、群馬県高崎市生まれ。テレビCMやスポットを製作する映像制作プロデューサーを経て、1988年に乃村工藝社に入社。八王子市こども科学館、おしかホエールランド、葛飾区郷土と天文の博物館、立川防災館などの展示映像を企画制作。その後、経営企画、情報システム部門責任者など歴任、2004年9月から現職。青山学院大学総合文化政策学部「文化施設経営論」講師を務める。1991年マルチメディアグランプリ 展示映像特別賞（全天周映画「太陽が引き裂かれた日」）、2001年インターネット博覧会（インバク）新千年記念行事懇話会座長賞を受賞。

1992年 東京クリエイティブ 研究委員会副委員長、2003年 国際ユニヴァーサルデザイン協議会 理事を務める。主な著書に『指定管理者制度—文化的公共性を支えるのは誰か』（共著）時事通信社/『地方史研究』（地方史研究協議会）第56巻第6号—「民間企業による博物館運営の実践」/スタジオジブリの好奇心「熱風」2006年4月号 特集・美術館から考える「民営化」—「長崎歴史文化博物館の指定管理者となって～その経緯とこれから」/『科学プロデューサー入門講座』（国立天文台 天文情報センター 科学文化形成ユニット編・共著）などがある。



【高橋信裕】 Nobuhiro Takahashi

常磐大学コミュニティ振興学部教授/文化環境研究所顧問

1948年高知県生まれ。1972年慶応義塾大学文学部卒業後、株式会社乃村工藝社入社。以後、文化施設の企画設計業務に従事。1995年より株式会社文化環境研究所所長。2013年より同顧問。2002年より大阪樟蔭女子大学非常勤講師、2004年より法政大学大学院非常勤講師、國學院大学非常勤講師、2007年より慶應義塾大学総合政策学部SFC非常勤講師、2011年より北海道教育大学岩見沢校非常勤講師、2012年より早稲田大学非常勤講師を務め、2013年9月より現職。主な著書に『ミュージアム&アミューズメント』（編著）六耀社/S D選書『ディスプレイデザイン』

（共著）鹿島出版会/『ディスプレイの世界』（共著）六耀社/『博物館展示法』（共著）雄山閣/『博物館情報論』（共著）樹村房/『地域博物館への提言』（共著）ぎょうせい/『新博物館学教科書 博物館学Ⅱ』（共著）学文社などがある。